

下関港新港地区国際物流ターミナル整備事業(水深12m)【直轄】

■ 事業概要

- 下関港新港地区は、旧コンテナターミナルの利用上の制限の解消や新たな需要に対応する岸壁等の整備進捗により、コンテナ貨物を含む取扱貨物量が増加している一方、泊地の整備が完了しておらず、水深が確保出来ていない状況。
- 新港地区において、補正予算の充当により、国際物流ターミナルの泊地整備を行うことで、物流機能の拡充を図る。

事業内容

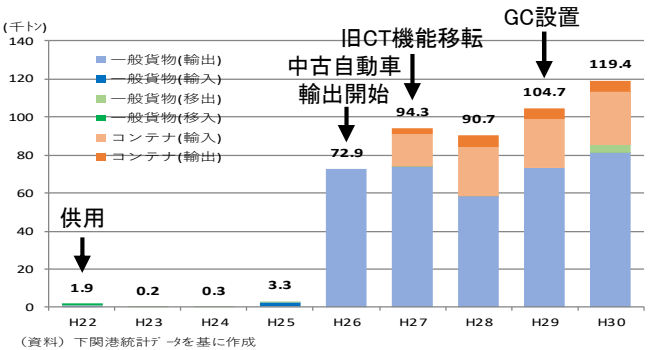
- 令和4年度補正配分額(事業費):3.0億円
- 令和4年度補正の実施内容:泊地の整備



整備効果

- 新たな国際物流ターミナルの整備により、旧コンテナターミナルから移転するコンテナ貨物や一般貨物の安定的な輸送かつ効率的な物流の確保に寄与する。

【新港地区の取扱貨物量(実績)】



【新港地区の利用状況】



下関港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

■ 事業概要

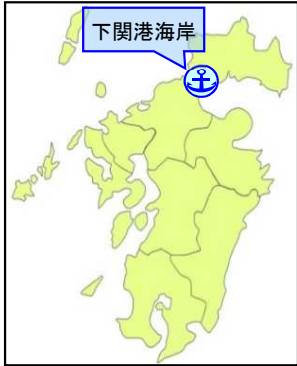
○下関港海岸は、背後に幹線道路や住宅地等の市街地が広がるとともに企業、事業所が臨海部に集積しており、平成11年の台風18号で発生した高潮によって背後地域が甚大な浸水被害を受けた。

○長府・壇ノ浦地区及び山陽地区において、補正予算の充当により、護岸等の整備を行うことで、台風襲来等に伴う高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):10.7億円
- 令和4年度補正の実施内容 :護岸等の整備

【過去の被害状況】



整備効果

○護岸等の整備により、背後の幹線道路や住宅地、企業、事業所等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、立地企業の経済的損失を回避する。

【山陽地区護岸整備の状況】



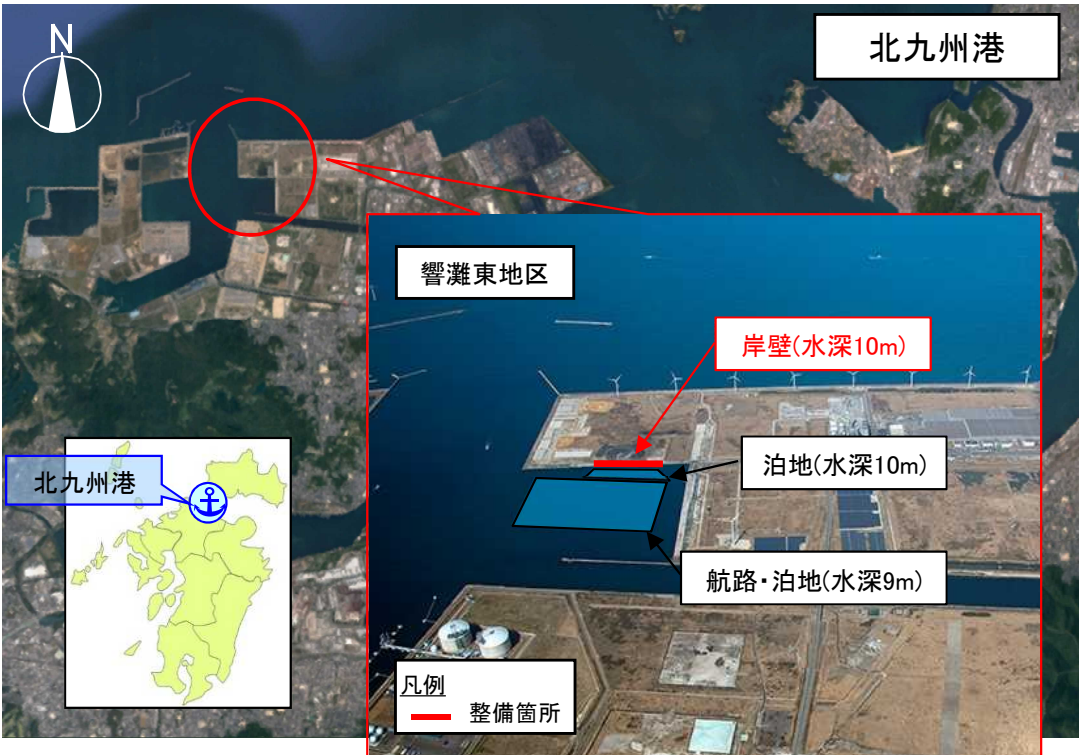
■ 事業概要

○洋上風力発電設備は、発電効率向上や設置コスト削減のため大型・重量化傾向にある一方、国内ではそれらを扱うことができる高い耐荷重性を備えた施設が存在しないため、洋上風力発電の導入拡大の妨げとなっている。

○北九州港響灘東地区において、補正予算の充当により、高い耐荷重性を備えた岸壁等(基地港湾)の整備を行うことで、洋上風力発電の導入促進等を図る。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費): 7.8億円
- 令和4年度補正の実施内容: 岸壁の整備



整備効果

○基地港湾整備により、従来の港湾では取扱困難な大型重量物となる洋上風車部材の搬入・仮組立(プレアッセンブリ)・積出しが可能となり、洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設が可能となる。

【基地港湾のイメージ】



博多港 予防保全事業【直轄】

■ 事業概要

- 博多港箱崎ふ頭地区の既存岸壁では、上部工のひび割れの発生等の老朽化が進行している状況。
- 上記の施設において、補正予算の充当により、老朽化対策（岸壁改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

事業内容

- 令和4年度補正配分額（事業費）：2.7億円
- 令和4年度補正の実施内容：岸壁の改良



整備効果

- 予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（岸壁改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。



箱崎ふ頭地区
岸壁（水深12m）

老朽化対策
（岸壁改良）



港湾施設利用の
安全性の確保

海上交通ネット
ワークの維持

三池港 予防保全事業【直轄】

■ 事業概要

- 三池港内港北地区の航路(水深10m)では、経年的な埋没により、浅所箇所が出現している状況。
- 内港北地区の航路(水深10m)において、補正予算の充当により、老朽化対策(浅所浚渫)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

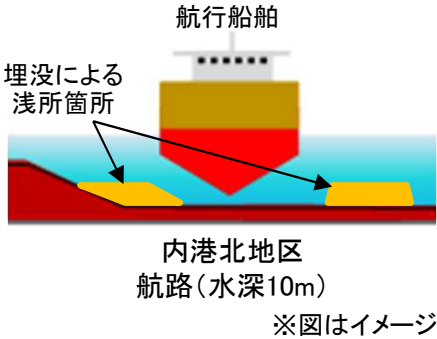
事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):2.0億円
- 令和4年度補正の実施内容 : 航路の改良



整備効果

- 予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策(浅所浚渫)を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。



老朽化対策
(浅所浚渫)

港湾施設利用の
安全性の確保

海上交通ネット
ワークの維持

※図はイメージ

からつ こう ひがしこう

唐津港東港地区複合一貫輸送ターミナル改良事業(耐震)(水深9m)【直轄】

■ 事業概要

- 唐津港東地区では、老朽化対策と合わせた耐震強化岸壁の整備進捗により、貨物の取り扱いやクルーズ船の寄港が進む一方で、航路泊地の整備が完了しておらず、水深が確保出来ていない状況。
- 東港地区において、補正予算の充当により、複合一貫輸送ターミナルの航路泊地整備を行うことで、国内貨物の輸送効率化、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応する。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):5.8億円
- 令和4年度補正の実施内容:航路泊地の整備



主な整備効果

○施設の老朽化対策と合わせて、大規模地震に対応した施設を整備したことで、貨物の取り扱いやクルーズ船の寄港が進み、輸送効率化による輸送コストの削減、国際観光収益の増加等を実現し、地域産業の競争力の確保・強化に寄与している。

岸壁供用後の利用状況



新規企業立地の促進



企業立地等による投資額(約140億円)および雇用者(約400人)の増加が期待される

(出典:唐津市ホームページ、企業ヒアリング等を基に作成)

厳原港予防保全事業【直轄】

■ 事業概要

- 厳原港厳原地区の防波堤は、港内静穏度確保に重要な施設であるが、消波工の沈下等による高波浪時の堤体の安定性が低下し、老朽化が進行している状況。
- 厳原地区の既存防波堤において、補正予算の充当により、老朽化対策（防波堤改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

事業内容

- 令和4年度補正配分額（事業費）：2.7億円
- 令和4年度補正の実施内容：防波堤の改良



整備効果

- 予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（防波堤改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。

消波工 沈下状況



防波堤(北) 越波状況



厳原地区
防波堤(北)

老朽化対策
（防波堤改良）



港湾施設利用の
安全性の確保

海上交通ネット
ワークの維持

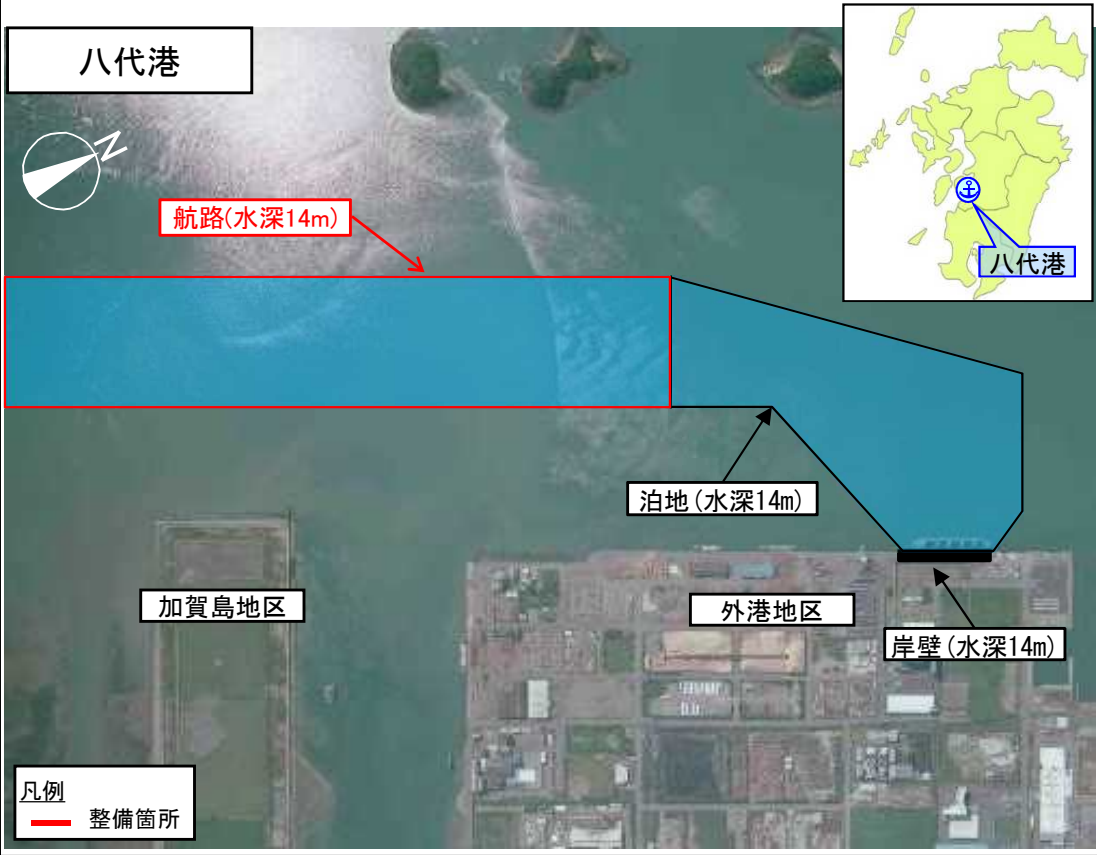
八代港外港地区国際物流ターミナル改良事業(水深14m)【直轄】

■ 事業概要

- 八代港は、穀物飼料の原料輸入及び飼料生産・供給拠点として、中九州地域を中心とした畜産業を支えている一方、穀物運搬船の大型化に対応できる施設がないため、喫水調整により入港する等、非効率な輸送を強いられている。
- 外港地区において、補正予算の充当により、国際物流ターミナルの整備(水深12mを水深14mへ増深)を行うことで、船舶の大型化に対応する。

事業内容

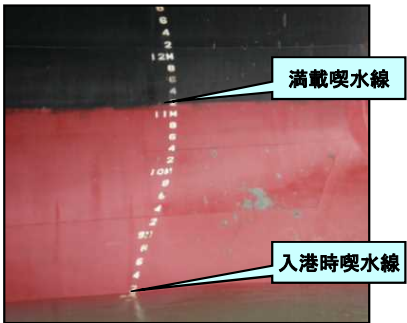
- 令和4年度補正配分額(事業費):17.5億円
- 令和4年度補正の実施内容 : 航路の整備



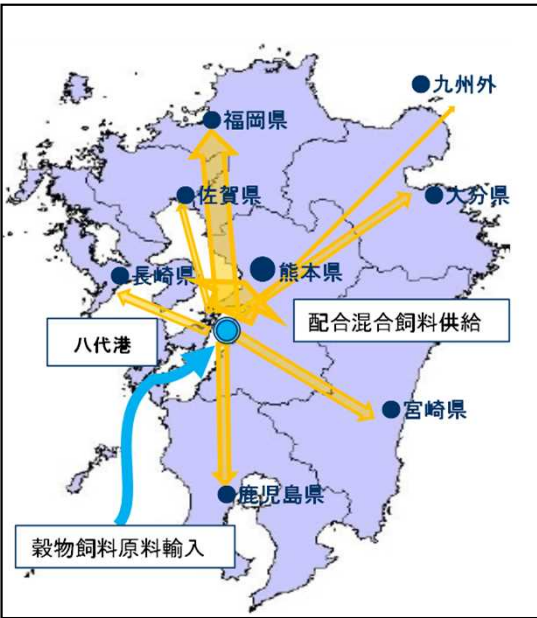
整備効果

- 船舶の大型化に対応した施設を整備することで、一括大量輸送による輸送コストの削減を実現し、畜産業の国際競争力確保に寄与する。

【喫水調整の状況】



【配合・混合飼料供給先(イメージ)】



3万トン以上の入港船舶は喫水調整により入港

大分港大在西地区複合一貫輸送ターミナル整備事業(水深9m)【直轄・補助】

■ 事業概要

- 大分港では、近年、RORO貨物が増加している一方で、既存岸壁の水深不足により、RORO船は喫水調整を強いられているとともに、シャース置場が点在していることで荷役時の横持ちが発生する等、非効率な荷役を余儀なくされている。
- 大在西地区において、補正予算の充当により、複合一貫輸送ターミナルの整備を行うことで、RORO貨物の増加に対応するとともに、輸送・荷役の効率化を図る。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):13.5億円
- 令和4年度補正の実施内容 : 岸壁、泊地、道路の整備



主な整備効果

【大分港のRORO貨物量(実績)】



- 岸壁等の整備により喫水調整が解消され、1隻の船舶で輸送できる貨物量が増加し、海上輸送が効率化する。
- ふ頭用地の整備により点在するRORO貨物を集約化し、横持ちが解消して荷役が効率化する。

【既存のシャース置場の状況】



岸壁背後にふ頭用地(シャース置場)を整備することで荷役が効率化

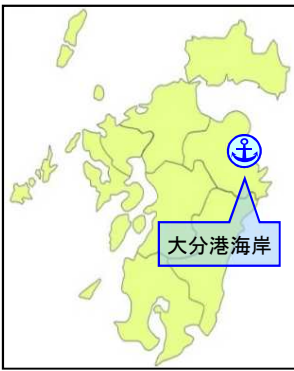
大分港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

■ 事業概要

- 大分港海岸は、県都大分市の市街地と製鉄業や石油化学工業を中核とする臨海工業地帯を防護する海岸線を形成しており、南海トラフ地震・津波の切迫性に加え、過年度の台風時の高波・高潮によって背後地域の浸水被害を受けた。
- 住吉地区、津留地区、乙津地区及び鶴崎地区において、補正予算の充当により、護岸等の整備を行うことで、南海トラフ地震・津波や台風襲来時等に伴う高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):11.7億円
- 令和4年度補正の実施内容 :護岸(改良)等の整備



【過去の被害状況】

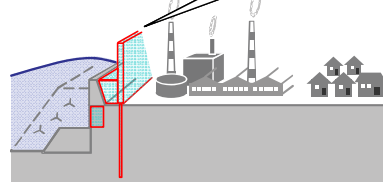
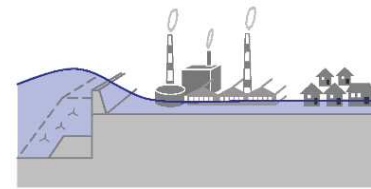
平成26年台風19号により高潮・高波が発生し浸水



整備効果

- 護岸等の整備により、市街地、臨海工業地帯等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、立地企業の経済的損失を回避する。

【津留地区護岸整備の状況】



護岸整備により背後地を防護

細島港工業港地区複合一貫輸送ターミナル整備事業(水深9m)【直轄】

■ 事業概要

- 細島港では、既存岸壁の水深不足により、大阪向けのRORO船が喫水調整による運航を余儀なくされているとともに、既存岸壁の延長不足により、東京向けの航路はRORO船が今後大型化した場合に細島港に寄港できなくなる。細島港背後の化学関連企業等が設備増強を進めている中、既存岸壁では更なる貨物需要の増加に対応できない。
- 工業港地区において、補正予算の充当により、複合一貫輸送ターミナルの整備を行うことで、RORO船の喫水調整の解消や大型新造船の就航を可能とし、背後企業の貨物需要に対応する。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):1.1億円
- 令和4年度補正の実施内容 : 岸壁の整備

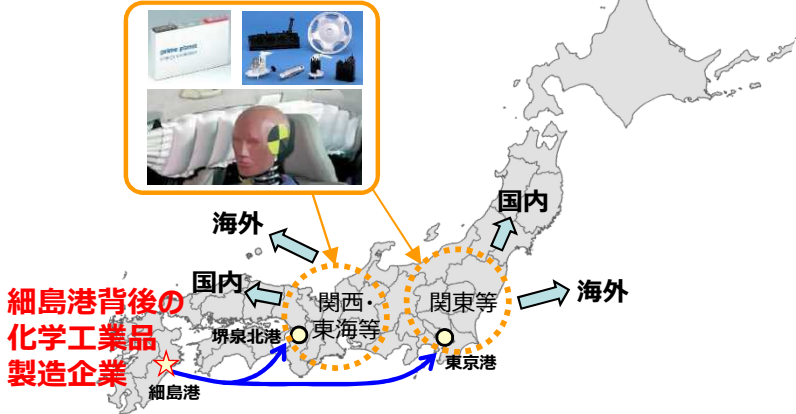


主な整備効果

- 岸壁等の整備により、RORO船の喫水調整の解消や大型新造船の就航が可能となる。これにより、背後企業の競争力強化と化学工業品の安定的な国内供給が可能となり、それら製品を利用する自動車産業等の生産基盤の強化や国際競争力が向上する。

地域の化学工業の振興及び
化学工業品の安定的な国内供給

細島港背後企業の化学工業品を使用した
自動車部品等の流通イメージ



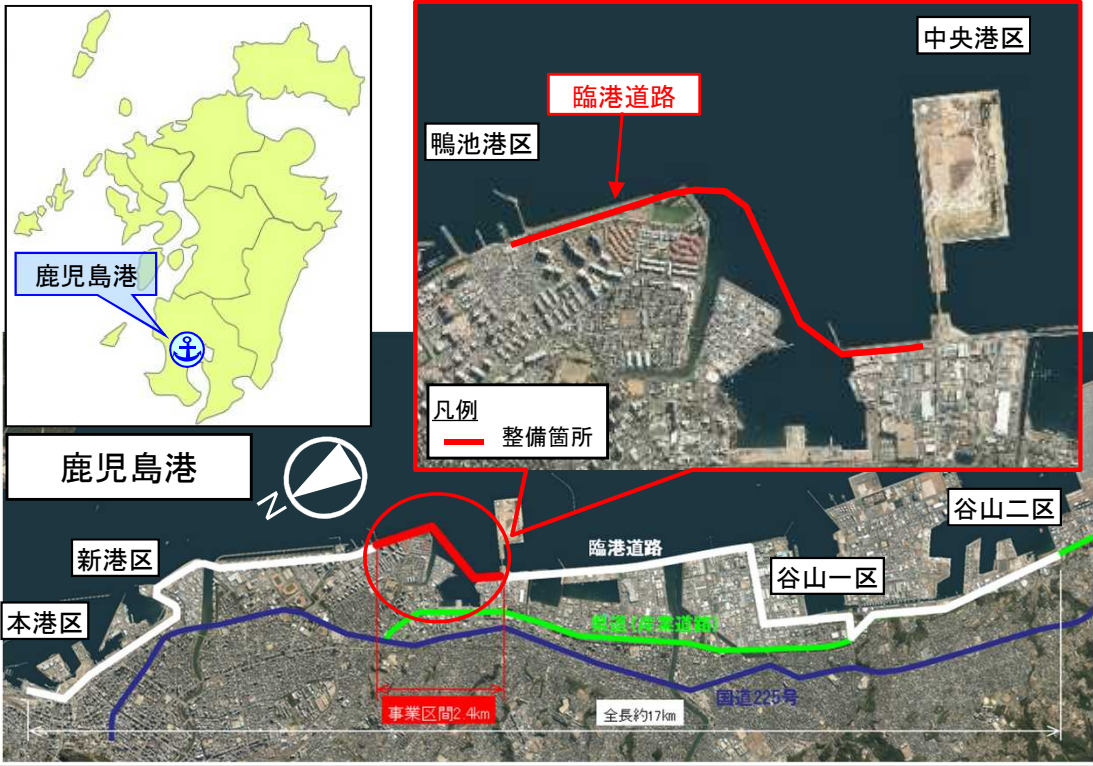
鹿児島港臨港道路整備事業(鴨池中央港区線)【直轄】

事業概要

- 鹿児島港は、鹿児島市の南北約20kmの範囲におよび、離島との基地港として島民の生活を支えるとともに、地域産業を支える物流拠点として重要な役割を果たしている。一方、港内南北の臨港道路のうち、鴨池港区から中央港区間が未整備で繋がっていない状況となっている。
- 鴨池港区から中央港区間において、補正予算の充当により、臨港道路の整備を行うことで、港湾物流のボトルネックを解消し、円滑な港湾物流の確保とともに、市内幹線道路の交通渋滞を緩和する。

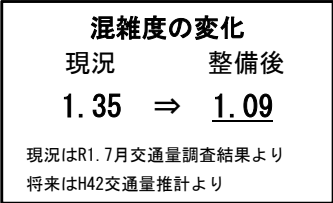
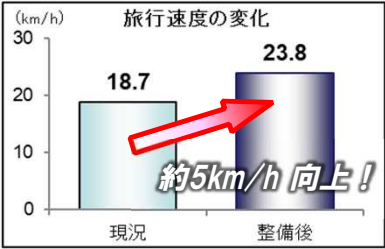
事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):6.0億円
- 令和4年度補正の実施内容 :臨港道路の整備



主な整備効果

- 臨港道路の整備により、交通混雑が緩和することで、円滑な港湾物流の確保と、市内幹線道路の交通渋滞を緩和する。



し ぶ し こ う

志布志港ふ頭再編改良事業(水深14m)【直轄】

■ 事業概要

- 志布志港は、日本屈指の農畜産地帯である南九州地域への飼料等の供給拠点として重要な役割を果たしている。一方で、効率的な輸送体系の構築、既存施設の老朽化への対応及び大規模地震発生後の物流機能の確保等の課題が顕在化している。
- 志布志港において、補正予算の充当により、老朽化した既存施設の対策を兼ねて、耐震性を備えたターミナルの整備を行うことで、大型穀物船による一括大量輸入への転換を促進するとともに、配合飼料原料の輸送効率化等を推進する。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費): 19.0億円
- 令和4年度補正の実施内容: 岸壁の整備



主な整備効果

- 岸壁等の整備により、大型穀物船(満載)による一括大量輸入が可能となり、安価で安定的な飼料供給を行うことで、南九州地方における畜産経営の安定化や消費者に対する畜産物の安定供給を図る。

【岸壁(水深14m)を経由した大型穀物船による一括大量輸入のイメージ】



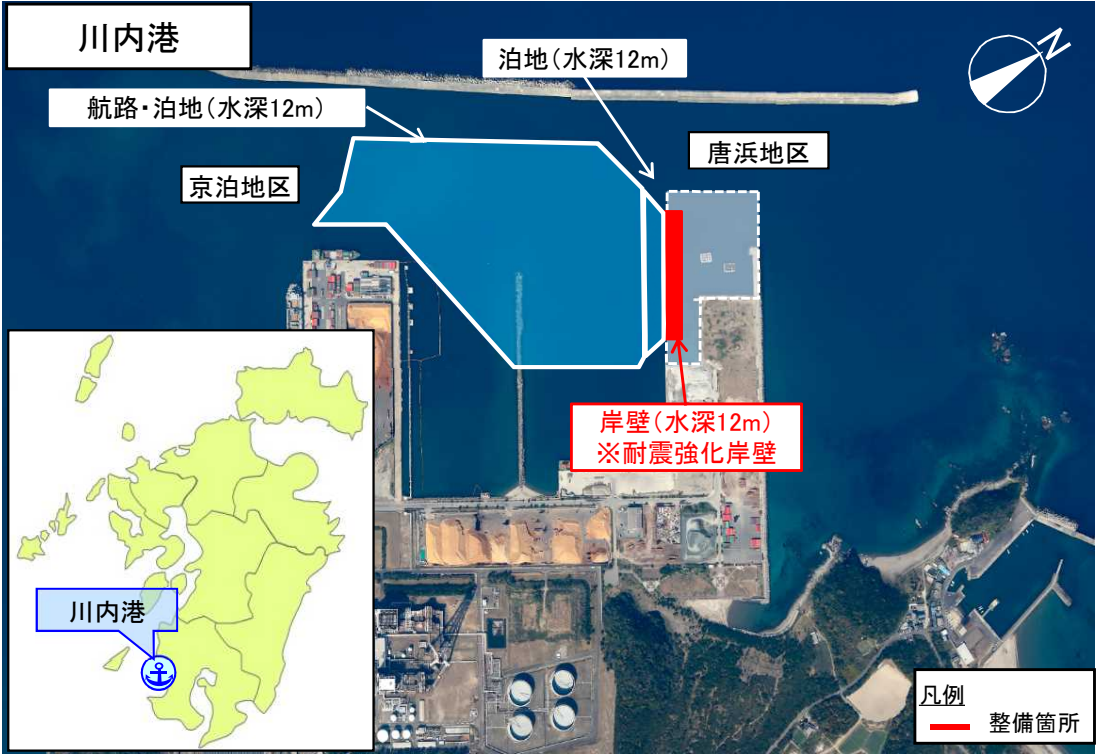
川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業(水深12m)【直轄】

■ 事業概要

- 川内港は、背後産業の原材料や製品等を取り扱う北薩地域の物流拠点として重要な役割を果たしている。また、川内港背後圏の木材素材生産量は増加傾向であり、最寄りの川内港からの林産品輸出の要請があるが、岸壁の制約から、非効率な輸送を強いられている。
- 唐浜地区において、補正予算の充当により、国際物流ターミナルの整備を行うことで、川内港背後圏の林産品の輸出量増加等に伴う運搬船の大型化に対応する。

事業内容

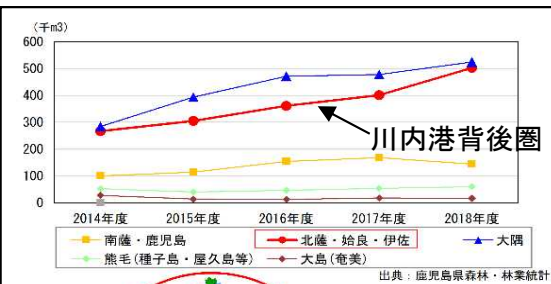
- 令和4年度補正配分額(事業費): 7.7億円
- 令和4年度補正の実施内容: 岸壁の整備



整備効果

- 本事業の実施により、船舶が大型化され、1回あたりに輸送できる貨物量が増加し、海上輸送が効率化する。また、近傍の川内港を利用することにより、輸送距離が短縮され、陸上輸送が効率化する。
- 本事業の実施により、木材輸出が促進されることで、適切な木材の利用が図られ、地域における林業の振興に寄与する。

【鹿児島県地区別の木材の素材生産量】



【川内港での原木積み込み状況】



鹿児島県は豊富な森林資源を有しており、特に川内港背後圏の木材の素材生産量は増加傾向

指宿港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

■ 事業概要

○指宿港海岸は、温泉観光都市である指宿市の中核となる観光施設や宿泊施設の多くが海岸沿いに集積している中、砂浜の著しい侵食と既設護岸の老朽化により、過年度の台風時の高波・高潮によって背後地域の浸水被害や背後道路の陥没等が発生。

○湯の浜地区において、補正予算の充当により、護岸等の整備を行うことで、台風来襲等に伴う海浜侵食や高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

事業内容

- 令和4年度補正配分額(事業費):11.4億円
- 令和4年度補正の実施内容 : 離岸堤(改良)等の整備



整備効果

○護岸等の整備により、観光施設、宿泊施設、市街地等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、地域産業の経済的損失を回避する。

【湯の浜地区護岸整備の状況】

